

今年



年です

出羽三山丑歳御縁年です

令和3年は丑年。今年はお出羽三山丑歳御縁年です。三山の一つ、奥の院である湯殿山が丑年に開山されたことから、湯殿山の御縁年をもって、出羽三山全体の御縁年とされています。湯殿山には「語るなかれ、聞くなかれ」というおきてがあり、そこで見聞きしたことを語ってはいけませんでした。かつてこの地を訪れた俳聖・松尾

芭蕉は「語られぬ湯殿にぬらす袂たもとかな」と詠んでいます。

丑年に参拝すると12年分のお参りをしたのと同じとされ、とても御利益があると言われていています。昔は、参拝までの道のりが大変厳しく、12年に1度の御縁年に備えて体を丈夫に保ち、12年分の御利益を求めて、険しい道のりを何日も掛けて歩いていたそうです。江戸時代には、庶民の生活が豊かになり、全国的に交通が発達し

たことから、寺社参詣が流行しました。「西の伊勢参り」と並んで「東の奥参り」と言われるほど人氣があったそうです。中でも、丑年御縁年は参詣人がとても多く、延享2年(1745)には、3万8,000人も参詣人が月山を通ってきたという記録が残っています。

幸多き一年となりますように

丑(牛)は古くから、農作業や物の運搬などでも活躍し、人々の生活に欠かせない動物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝う様子から、丑年は「発展の前触れ」を表す年になると言われています。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で耐え忍ぶ日々が続きましたが、我慢の先に芽が出ることを信じて、今年も、新たな発展へとつなげる年にしていきたいものです。今年が皆さんにとって、たくさん良いことが積み重なる年でありますように。

